
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第19号（2017. 6. 26）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第19号をお届けします。

今回の活動組織紹介は、地域の漁業を守るために排水の水質保全対策に取り
組む組織と勉強会や広報誌等により「学ぶ」ことを大切にしている組織をご紹
介します。

また、活動に役立ちそうな各種イベントのご案内を掲載しています。

==== 第19号の目次 =====

1. 活動組織の活動紹介

☆中春別地域づくりネットワーク（北海道別海町）☆

☆古川町気多の水と土を守る会（岐阜県飛騨市）☆

2. 各都道府県の推進組織を紹介！

3. 全国事例研究会の参加者募集！（継続案内）

4. 生きもの調査指導者養成全国研修会 in 宮城開催のご案内

5. 中山間地域フォーラム設立11周年記念シンポジウム開催のご案内

6. 「ディスカバー農山漁村の宝」を募集中！

（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

☆中春別地域づくりネットワーク（北海道別海（べつかい）町）☆

北海道の東部、根室管内の中央に位置する別海町は、酪農業と漁業（サケ、
ホタテ、エビ等）を基幹産業とする町です。

当地域にはサケ・マス増殖河川に指定されている春別川などが流れており、
下流域にはラムサール条約に指定されている野付湾があることから、地域では
酪農業による河川環境への負荷を低減させるための取組が強く望まれていまし
た。

このことから、本ネットワークでは、牧草地からの濁水や有機物質の流出抑
制などの水質保全・向上を図るため、町内にある魚介類残さ処理業者の協力を

得て、粉碎・焼成処理されたホタテの貝殻を農用地に隣接する排水路等へ設置しました。

この取組は、貝殻に土砂や有機物質が付着することによる水質保全だけでなく、これまで産業廃棄物とされてきたホタテの貝殻の有効活用にもつながることから、漁業者からも高い評価を得ています。

◎本ネットワークの取組は、北海道 HP でも紹介しています。

以下の HP で「平成 28 年度第 1 回委員会」の「議事資料 1 イ」をクリックしてください。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/nochimizu/daisansyaiinnkai_top.htm

【中春別地域づくりネットワーク 事務局長 小湊 良昭】

☆古川町気多の水と土を守る会（岐阜県飛騨（ひだ）市）☆

本組織は、組織名のとおり「水と土を守る」をテーマに取組を行っています。用排水路管理組合を始めとする 22 の団体で構成されていますが、各団体が同じテーマに向かい活動することで一体的な活動がなされています。

本組織では「学ぶ」ことを大切にしており、勉強会や広報誌等により気多地域の農業に関する歴史や先人の思いを伝え学んでいます。また、遊休農用地を活用し、非農家や子ども達が農業体験のできる「ぼくらの田んぼ」「みんなの畑」等を設置し、ブルーベリー、里芋、アブラエ（エゴマ）等の作付けから収穫までを楽しむことで、農業・農村の大切さを実感しています。

今後も、地域が一体となって農村環境を守るとともに、未来への種まきを行う中から、地域の担い手が育成されていくことが期待されます。

【岐阜県飛騨農林事務所 大坪 里沙】

■ 2. 各都道府県の推進組織を紹介！ ■

各都道府県においては、地域ごとの多様な特性を踏まえて、多面的機能支払の円滑な取組を推進するため、「推進組織」が設立されています。

その推進組織の一員として、各都道府県の土地改良事業団体連合会（愛称：都道府県水土里ネット）は、地域の保全活動を支援しています。

「全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会」は、都道府県水土里ネットと全国水土里ネットが構成員となって、平成 27 年 5 月に設立され、多面的機能支払に関する情報交換、広報活動、農林水産省との共催による事例研究会の開催等を行っています。

この度、協議会では、「農地・農業用施設の保全活動」というホームページを

新たに立ち上げ、各都道府県に設置されている「推進組織」や活動内容の紹介等を行っておりますので、是非ご覧ください。

◎全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会 HP「農地・農業用施設の保全活動」

<http://www.inakajin.or.jp/jigyou/tabid/388/Default.aspx>

【全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会 事務局（小畑、瀧澤）】

■ 3. 全国事例研究会の参加者募集！（継続案内） ■

前号でもご案内したとおり、多面的機能支払交付金事例研究会（平成 29 年 10 月 11 日（水）、12 日（木）開催）は、現在、参加者の募集中です。

活動組織の皆様や自治体、推進組織等のご担当者様の参加をお待ちしております。なお、開催内容に関する詳細や参加申込は、農林水産省のホームページをご覧ください。（申込締切：平成 29 年 7 月 28 日（金）12 時 00 分まで）

▽詳細・参加申込方法▽

以下の HP で詳細をご確認の上、「5.参加申込要領」からお申込ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H29.html

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 4. 生きもの調査指導者養成全国研修会 in 宮城開催のご案内 ■

「生きもの調査」の実施における指導やサポートを行うことができる人材の育成を目的として、（一社）地域環境資源センターでは、座学と実習で構成した研修を開催します。例年、多面的機能支払の活動組織からも多くの方々が参加している研修会ですので、是非ご参加ください。

▽日程▽

平成 29 年 8 月 4 日（金）～5 日（土）1 泊 2 日

▽場所▽

座学：くりはら交流プラザ（エポカ 2 1）（宮城県栗原市志波姫新熊谷 279-2）

実習：宮城県石巻市北上地区、登米市伊豆沼第 2 工区

▽申込締切▽

平成 29 年 7 月 14 日（金）

▽詳細・申込▽

研修会の詳細・申込については、(一社)地域環境資源センターのホームページをご覧ください。なお、前号でご案内しました「水田魚道設置指導者全国研修会」につきましても、継続募集中です。

<http://www.acres.or.jp/Acres/kenshukai/index.htm>

▽お問合せ先▽

(一社)地域環境資源センター (担当：藤田)

TEL：03-5425-2461

FAX：03-3432-0743

URL：<http://www.jarus.or.jp/>

【(一社)地域環境資源センター 農村環境部】

■ 5. 中山間地域フォーラム設立 11 周年記念シンポジウム開催のご案内 ■

人口減少、高齢化の進行が著しい中山間地域において、近年の若者世代の「田園回帰」の潮流は明るい話題であり、地域再生の担い手として大きな期待が寄せられています。

中山間地域は、田園回帰の潮流を受け止めながら若者の力をどのように活かしていけば良いのでしょうか。特定非営利活動法人中山間地域フォーラムでは、「農山村再生と”若者力”－農業の新たな位置づけ－」をテーマにシンポジウムを開催します。

多面的機能支払の活動にも参考になる内容が含まれていると思いますので、是非ご参加ください。

▽日程▽

平成 29 年 7 月 8 日 (土) 13 時 50 分～17 時 50 分

▽会場▽

東京大学弥生講堂一条ホール(東京都文京区弥生 1-1-1、地下鉄南北線東大前駅から 1 分)

▽詳細・申込▽

シンポジウムの詳細・申込については、中山間地域フォーラムのホームページをご覧ください。(先着 300 名)

<http://www.chusankan-f.org/>

▽お問合せ先▽

中山間地域フォーラム事務局

メール：tebento-staff@chusankan-f.org

【特定非営利活動法人 中山間地域フォーラム】

■ 6. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」を募集中！ ■

内閣官房と農林水産省では、農山漁村の活性化に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するため、「ディスカバー農山漁村の宝」の表彰事業を実施しています。

農山漁村や農林漁業の振興に関する取組であれば幅広く応募の対象となっており、これまでには、多面的機能支払の活動組織も選ばれています。

また、「ディスカバー農山漁村の宝」に選ばれると、各種メディア媒体への紹介記事掲載や、様々なイベントへの出展支援などが受けられます。

多くの御応募をお待ちしておりますので、是非、わが町、わが村の「宝」を応募してみませんか。

▽応募期間▽

自薦の場合：平成 29 年 8 月 21 日（月）まで

他薦の場合：平成 29 年 8 月 7 日（月）まで

▽詳細・応募方法▽

事業の詳細や応募方法等は、農林水産省のホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/discover.html>

▽関連イベント▽

平成 29 年 6 月 30 日（金）に熊本県でシンポジウムとマルシェを開催しますので、お近くの方は是非ご参加下さい。イベントの詳細は、農林水産省のホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/170619.html>

【農林水産省 都市農村交流課】

■ 編集後記 ■

先日、子どもを連れて里山にトンボ探しに出かけました。行き先は、日本の重要里地里山にも選定されている「横浜入里山保全地域」。東京都内に残された貴重な里山環境で、近年では減少している地域もあるという「ハラビロトンボ」や「シオヤトンボ」などを見つけることができました。一方、数年前には観察できた「モートンイトトンボ」（東京都絶滅危惧 IA 類）は、今回見つけること

ができませんでした。原因は定かではありませんでしたが、生きもの達の動向は、人間の目では気付かない環境の変化を教えてくれます。一見、自然が多いような農村でも、知らないうちに生きものが暮らしにくい環境になっているという話は時折耳にします。全国の多面的機能支払による生態系保全の取組が、こうした小さな生きもの達の命を繋いでいることを信じて、制度の推進を図っていきたいと感じました。

◇平成29年度多面的機能支払交付金のあらましは、こちらからご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は、以下のサイトから手続きをお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

なお、手続きには、パスワードが必要です。お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇バックナンバー◇

過去に配信したメールマガジンの閲覧はこちらから

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております。

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：鈴木）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
